

# 新たな整備手法による整備事例集

## — 建物別整備手法 —

平成 2 1 年 1 月

文部科学省大臣官房文教施設企画部計画課整備計画室

# 目次

目次	1
本事例集について	2
平成20年12月提出事例一覧	3

## 1. 教育研究施設

①寄附による整備（神戸大学）	4
②地方公共団体との連携による整備（東京芸術大学）	5
③他省庁との連携による整備（群馬大学）	6
④受託研究費による整備（東京大学）	7
⑤目的積立金による整備（大阪大学）	8
⑥診療収入による整備（鳥取大学）	9

## 2. 学生支援施設等

①寄附による整備（東京工業大学）	10
②他省庁との連携による整備（福井大学）	11
③独立採算型事業による整備（横浜国立大学）	12
④自己資産の活用による整備（京都大学）	13

## 3. 附属病院

①寄附による整備（福井大学）	14
②地方公共団体との連携による整備（秋田大学）	15
③借用による整備（宮崎大学）	16
④独立採算型事業による整備（岡山大学）	17

## 4. 産学連携施設

①寄附による整備（大阪大学）	18
②地方公共団体との連携による整備（北海道大学）	19
③他省庁との連携による整備（東北大学）	20
〃（信州大学）	21
④定期借地権による整備（北海道大学）	22

## 5. 宿舎

①寄附による整備（北海道大学）	23
②長期借入金による整備（豊橋技術科学大学）	24
〃（大分大学）	25
③独立採算型事業による整備（横浜国立大学）	26
④借用による整備（東京工業大学）	27
⑤土地交換による整備（東京学芸大学）	28
⑥目的積立金による整備（九州大学）	29
⑦学内資金による整備（東京大学）	30

## 6. 屋外環境

①寄附による整備（福岡教育大学）	31
②地方公共団体との連携による整備（北海道大学）	32

## 7. 設備

①他省庁との連携による整備（鹿児島大学）	33
〃（浜松医科大学）	34
〃（名古屋大学）	35
②賃貸借による整備（横浜国立大学）	36

## （参考）新たな整備手法の整備状況について

①新たな整備手法による施設整備（平成19年度）	37
②新たな整備手法による整備内容（平成19年度）	38
③施設用途別整備手法の傾向（平成19年度）	39

## － 本事例集について －

### 1. 内容

- 本事例集は、国立大学法人等において実施された新たな整備手法として位置付けられる事例を各国立大学法人等の協力のもと、平成20年12月時点で収集した事例をベースに一部過去に収集した事例を加え、建物別整備手法として構成している。
- なお、本事例集では、各国立大学法人等における今後の取組みの参考となる事例について取りまとめ、同種事例が複数ある場合など一部の事例は事項名のみで紹介とさせていただいた。

### 2. 留意点

- 本事例集では、建物別に多様な整備手法を提示している。整備手法の選定に当たっては、維持管理・運営を含めた的確なケーススタディを行うなど適切に判断されたい。
- 各事例は、簡潔に内容が理解・把握できるようにまとめている。より詳細な情報を必要とする場合には、当該国立大学法人に要確認のこと。
- また、他省庁等の補助金等の活用を検討する場合には、募集時期や要綱改正の有無等について、当該ホームページ等での確認が必要である。

# 平成20年12月提出事例一覧

## 北海道大学

- ・定期借地権（事業用）を利用した製薬会社による研究施設の整備
- ・民間病院からの留学生会館の現物寄附

## 岩手大学

- ・岩手大学生生活協同組合の寄付による施設増築改修等、福利厚生施設の整備

## 東北大学

- ・地域企業立地促進等共用施設整備費補助金による人材育成施設の整備
- ・財団法人半導体研究振興会からの土地及び施設の寄附

## 埼玉大学

- ・学内予算及び寄付金による託児施設の整備

## 東京大学

- ・目的積立金による学内保育施設の整備
- ・研究棟整備費の学内借入金による研究拠点の整備

## 東京学芸大学

- ・地方公共団体との連携による施設整備

## お茶の水女子大学

- ・目的積立金による研究施設の整備
- ・目的積立金による福利厚生施設の整備

## 東京工業大学

- ・同窓会からの寄付と目的積立金を財源とした交流・支援施設の整備

## 横浜国立大学

- ・全ての費用を事業者の資金調達による留学生・外国人研究者等の居住施設（宿舎）の整備
- ・従来のボイラー経費相当額での空調設備の整備（賃貸借）

## 金沢大学

- ・過疎により廃校となった施設を利用して地域活性化の活動拠点を整備
- ・県が街の中心に大学の前身校（旧制第四高等学校・四高）を紹介する場と講義室を整備

## 福井大学

- ・目的積立金の活用による総合図書館の整備
- ・21世紀職業財団の補助と自己資金による学内保育施設の整備
- ・自己財源（寄附金）による教育・研究施設の整備

## 浜松医科大学

- ・E S C O事業による中央熱源機器の整備

## 信州大学

- ・経済産業省の補助金を活用し、信州科学技術総合振興センターを整備

## 豊橋技術科学大学

- ・長期借入金による学生寄宿舎の整備

## 名古屋大学

- ・開学100周年記念事業による環境整備（寄付金）

## 愛知教育大学

- ・自己財源、自己収入等による基幹環境の整備

## 岐阜大学

- ・大学生協からの福利施設の現物寄附（改修）
- ・自己財源による福利厚生施設の整備
- ・附属病院収入による医療施設の改修整備

## 京都大学

- ・21世紀の循環型社会を指向した革新的建築システム「j-Pod」による施設整備
- ・全国初の「環境賦課金」による省エネルギー対策整備

## 京都工芸繊維大学

- ・学生によるキャンパス整備（ウッドデッキ・京町家キャンパス）

## 神戸大学

- ・医学部創立60周年記念事業の募金による教育研究施設の整備

## 和歌山大学

- ・中心市街地活性化に向けた民間企業との合同事業

## 鳥取大学

- ・学内資金を活用した動物病院の整備

## 大分大学

- ・長期借入金による学生寄宿舎の整備
- ・大分大学生生活協同組合の寄附による福利施設食堂棟の改修整備
- ・企業（J R九州リテール株式会社）によるコンビニエンスストアの整備

## 宮崎大学

- ・目的積立金によるビオトープ整備
- ・目的積立金によるキャンパスライフ環境の改善（学生会館の増築）
- ・借用による歯科口腔外科サテライトの整備

## 鹿児島大学

- ・二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（環境省）を活用したE S C Oサービス事業

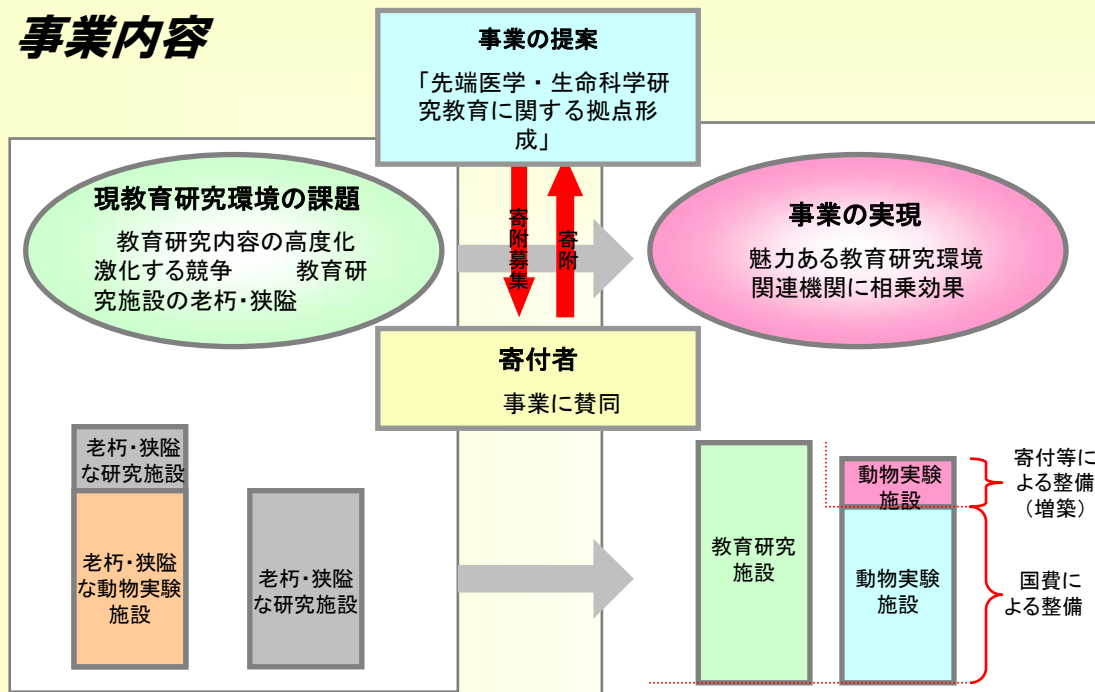
## 釧路工業高専

- ・文部科学省「産学連携による実践型人材育成事業」による実験施設の整備

医学部創立60周年記念事業の募金による教育研究施設の整備

- ・先端医学・生命科学研究教育に関する拠点形成。
- ・創立60周年記念事業の寄附金による整備。

事業内容



期待される成果

- ・教育研究環境の充実により、優れた学生・医師・研究者を引きつけ、本学並びに関連機関に大きな相乗効果が期待出来る。

導入のポイント

- ・現有施設の問題点・課題・解決策を整理し募金の趣意書に明記する等より多くの寄附を得るための工夫が必要。

施設概要 (寄附部分のみについて記載)



外観



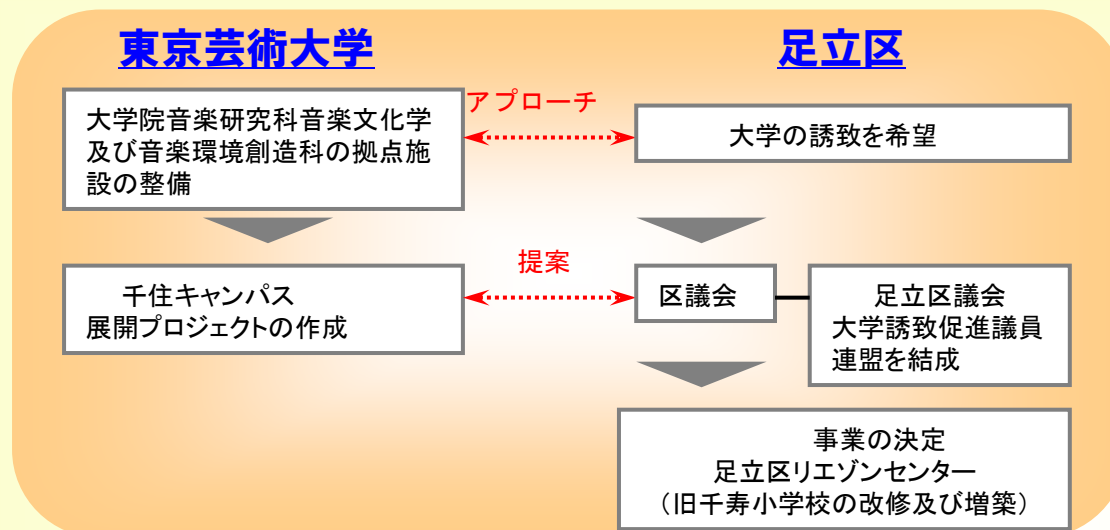
飼育室

施設名 共同研究館  
 構造・階数 S造 地上4階  
 延床面積 1,130㎡  
 使用開始 平成20年11月  
 部屋構成 研究室・実験室・飼育室

## 廃校校舎を活用したキャンパスの整備

- ・地方公共団体との連携による新しい芸術・文化を創造・発信する街づくり
- ・足立区による施設の整備

### 事業決定までの流れ



### 施設概要



- 施設名** 千住キャンパス  
(足立区リエゾンセンター)
- 構造・階数** RC造 地上5階建
- 延床面積** 6,546㎡ (全て借用)
- 使用開始** 平成18年9月
- 室構成** ダンス演劇スタジオ  
音響製作スタジオ  
講義室  
録音調整室 (スタジオA、B)  
合同教員室

### 事業によるメリット

- 大 学:** 音楽環境・文化環境の発展と創造に資する人材育成ができる。  
キャンパスの整備の実現とともに受託研究・受託事業を展開できる。
- 足立区:** 「文化拠点としての千住地区」というイメージの定着。
- 双 方:** 足立区により廃校となった小学校校舎を大学校舎に整備し活用が図られる。  
地方公共団体との連携による新しい芸術・文化を創造・発信する街づくり。

### 導入に当たってのポイント

- ・足立区の「文化拠点としての千住地区構想」において、「音楽環境・文化環境の発展と創造に資する人材を育成する」大学院音楽研究科音楽文化学及び音楽環境創造科の教育・研究拠点として、足立区の千住地区にある文化関連施設との多面的な連携を図れることから、千住への移転に至った。
- ・廃校校舎の整備方法（耐震補強含む）及び維持管理等について十分な協議を足立区と行った。特に音響に配慮すべき室等については、限られた予算内で増築整備の実施に至るまでに苦慮した。

## 太田市が新築した施設の一部を、太田キャンパスとして有償借用

- ・太田市の要望等を受け、新学科（生産システム工学科）の設置を決定。
- ・太田市がまちづくり交付金（国土交通省）を活用し、（仮称）ものづくり教育研究施設を整備
- ・群馬大学が工学部の新キャンパスとして施設の一部を有償借用

### 事業内容

太田市

群馬大学

国土交通省  
まちづくり交付金：事業費の最大4割を交付  
太田市都市再生整備計画（H18.3策定）

地域ものづくり教育研究推進協議会

太田市都市再生整備計画に本施設の整備を追加（H18.11変更）  
基幹事業：高次都市施設（地域交流センター）  
提案事業：地域創造支援事業（ものづくり教育研究施設）

工学部  
太田キャンパス  
太田市  
地域交流センター

（仮称）ものづくり教育研究施設の整備  
※中心市街地活性化のために、教育文化施設（学校、図書館）、医療施設、社会福祉施設等の整備も対象となりうる。

（仮称）ものづくり教育研究施設

### 施設概要



施設名：（仮称）ものづくり教育研究施設  
大学院研究棟・産学研究棟

構造・階数：S造、地上5階

延床面積：7,460㎡

延床面積：1,720㎡

延床面積：7,100㎡

使用開始：平成20年4月

#### 部屋構成

大学院研究棟（大学占有）3,900㎡（有償）

- …工学部大学院生産システム工学専攻及び同学科

産学研究棟（共同利用）3,200㎡（無償）

- …共同研究室等産学連携スペース、セミナー室、
- …地域交流センター：市民交流スペース（市民展示室、市民ロビー）

### 事業によるメリット

- 大 学：太田市の配慮により、大学の要望に合致した施設計画にできた受験生（勤労学生）のニーズに合致した夜間コース  
共同研究や受託研究等の増加  
太田市との継続的な援助、協力  
関係団体（商工会・工業会）からの支援
- 地方公共団体：市の基盤産業である「ものづくり産業」の発展  
市の中心市街地の活性化
- 関係団体・企業：地域産業界に直結した「ものづくり」技術の研究開発  
独創性及び創造性を有する生産技術者の育成  
上記により、国際競争力のある独自技術をもつ企業の創成

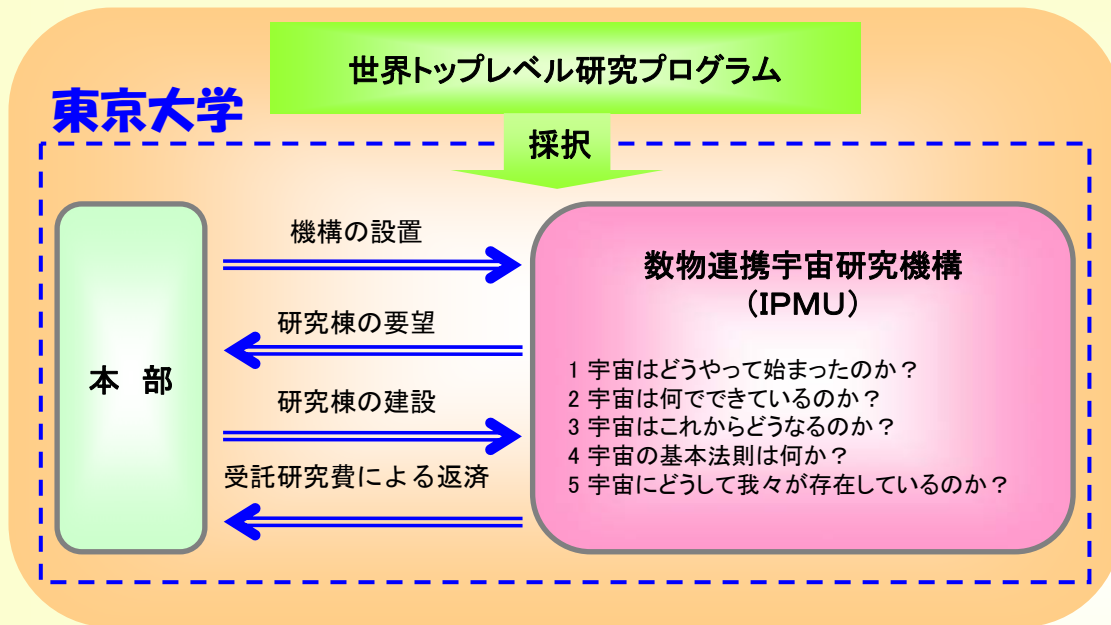
### 導入のポイント

導入できた要因：産（地元ものづくり産業）・官（太田市）・学（工学部）の考えが、同時期に一致したこと。  
注意点・工夫点：当初全施設無償借用の計画であったが、地財法の規制により、施設利用者として、適正な対価での有償借用の計画とする必要があった。

研究棟整備費の受託研究費による研究拠点の整備

- ・世界トップレベル研究拠点として設置された数物連携宇宙研究機構棟の整備を、学内資金の一時借入により実施
- ・受託研究費により、学内借入金を返済

事業内容



期待される成果

- ・世界トップレベルの研究拠点に相応しい施設の整備
- ・研究者の交流を促進することで、卓越した学術知の創出

導入の要因

- ・早期の事業着手が可能
- ・PFI等に比べ利息分の支払が不要

施設概要



施設名	数物連携宇宙研究機構棟
構造・階数	RC造 地上6階
延床面積	約6,000㎡
使用開始	平成21年9月(予定)
部屋構成	研究室 交流スペース 図書室 屋上テラス



目的積立金と財団からの寄付を組み合わせた教育研究施設の整備

- 大学による「世界トップレベル国際研究拠点」の強力かつ積極的なサポート。
- 新棟の先行整備(一部改修バツファとして利用)により研究に支障なく、老朽施設の耐震改修が促進。

事業内容

大阪大学

H17年 感染症国際研究センター発足

H19年3月 役員会で「教育研究等の質の向上及び組織運営の改善目的積立金」として承認

H19年9月 世界トップレベル国際研究拠点形成推進プログラムに「大阪大学免疫学フロンティア研究センター」構想が採択される。

H19年11月 微生物病研究所産学官連携問題委員会にて寄附受入の承認

(財)阪大微生物病研究会

H19年10月 寄附申込

施設概要



施設名	融合型生命科学総合研究棟
構造・階数	RC造 地上10階
延床面積	9,450㎡
使用開始	平成21年4月(予定)
部屋構成	研究室、講義室、自習室 セミナー室

期待される成果

- 免疫学とイメージング技術の融合を通じ、病原体や癌等に対する免疫細胞の反応を理解し、感染症、自己免疫疾患、アレルギー、癌などの多様な疾患の診断・治療の為の新しい戦略の開発を目指す。
- 高い実績を持つ優れた研究者メンバーが外国人研究者の参加を促進し、世界的にオープンな「目に見える拠点」を構築。

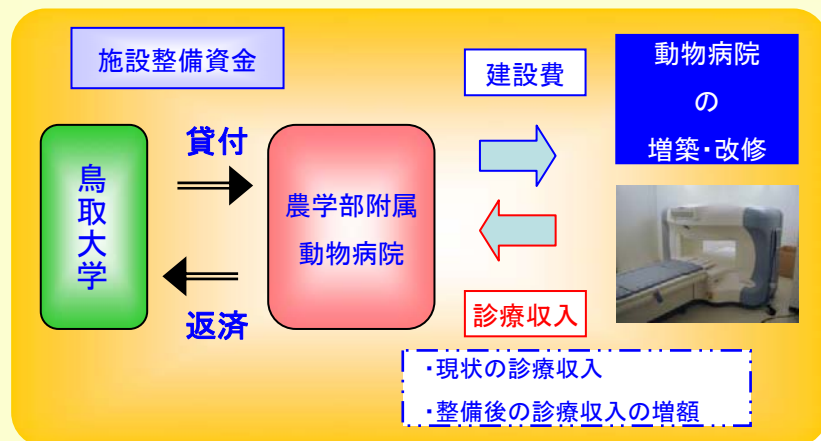
導入のポイント

- 寄附案件は寄附条件の整理、マスタープランとの整合性の整理、研究内容の精査、受入後の維持管理体制の整理が必要。
- 目的積立金の使途が中期計画の記載事項と合致している必要がある。
- 目的積立金による施設整備の際は文部科学省と入念な協議が必要である。

### 診療収入を活用した動物病院の整備

- ・『鳥取大学設備等整備支援事業』の創設
- ・現状の診療収入及び整備後の増額した診療収入により借入金の返済

### 事業内容



### 施設概要

施設名 農学部附属動物病院  
 構造・階数 増築：S造 地上1階 改修：R造 地上2階  
 延床面積 増築：320㎡ 改修：1,410㎡  
 使用開始 増築：平成21年6月 改修：平成22年4月  
 部屋構成 増築：診察室、処置室、入院室 等  
 改修：手術室、MRI室、CT室 等



### 期待される成果

- ・診療収入の増額
- ・診療環境及び教育研究環境の改善

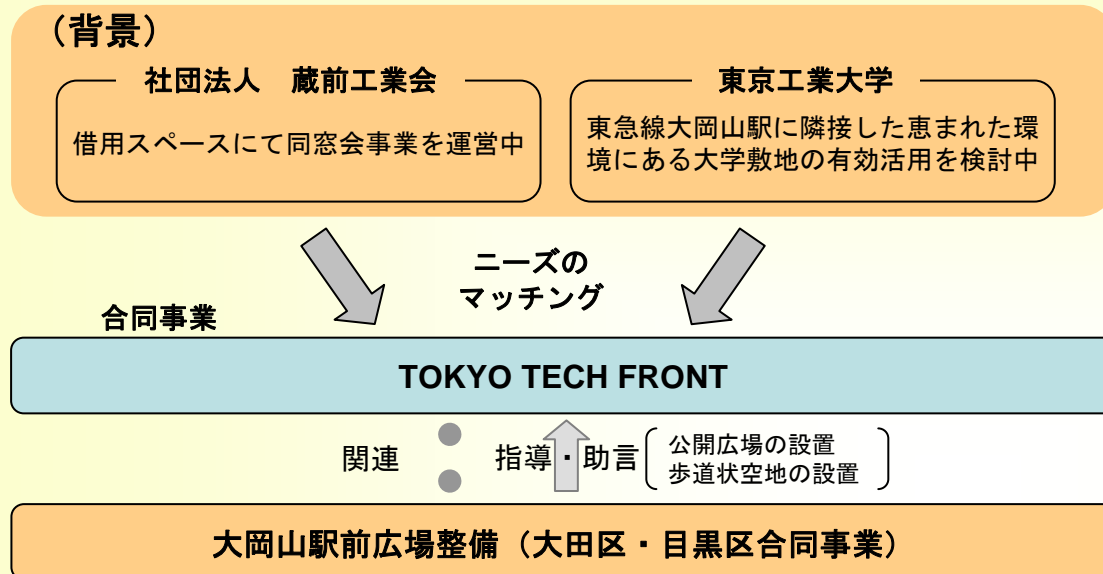
### 導入のポイント

- ・近年の患畜数の増加及び臨床実習教育の増加に対応するため小動物病院の整備が必要
- ・早期の事業着手が可能
- ・長期借入金に比べ利息分の支払いが不要

同窓会からの寄付と目的積立金を財源とした交流・支援施設の整備

- ・教職員、学生、OBのための社会に開かれた交流拠点
- ・大学の顔としてのインフォメーション機能を持つ施設

事業内容



施設概要



**施設名** TOKYO TECH FRONT  
**構造・階数** S造 地上4階  
**延床面積** 4,076㎡  
**使用開始** 平成21年4月（予定）  
**部屋構成** 大学案内コーナー、多目的ホール、カフェレストラン、事務室（蔵前工業会）

期待される成果

- ・国際学術研究交流（国際会議、国際学術講演会）
- ・地域学術研究交流（公開講座、市民講演会、技術講座、理科実験教室）
- ・教職員、学生、留学生、同窓生、一般社会人、近隣住民の交流
- ・産学連携、交流

導入のポイント

- ・双方の出資は同額（出資金は、大学が管理し、経理する）
- ・近隣住民との合意形成が必要である
- ・寄付案件は寄付条件の整理、マスタープランとの整合性の整理、受入後の維持管理体制の整理が必要である

### 21世紀職業財団の補助と自己資金による学内保育施設の整備

- ・看護師及び女性医師の安定した確保を目指す目的積立金による保育施設の整備

#### 事業内容

- ・男女共同参画を実現するために、女性が働きやすい環境整備
- ・大学の教育・医療と連携した質の高い保育
- ・ニーズの実態と全国的な動向からみて、大学として保育施設の早期整備に取り組む
- ・「保育時間の多様性・融通性」「病児・病後児の受け入れ」「保育環境の豊かさと安全性」「リーズナブルな保育料」「保護者に負担のかからない運営」の実現
- ・大学としての特色を生かした保育内容と保育形態の実現
- ・本施設を21世紀職業財団及び自己資金（目的積立金）により整備した

#### 事業による効果

- ・7対1看護に対応した看護師及び女性医師の安定した確保ができる
- ・男女共同参画社会の実現と次世代育成支援を目指す大学の取組を実現できる
- ・女性が働きやすい職場環境の整備ができる
- ・子供らしくのびのびと、安全に成長していける環境を中心とし、日々の遊びの中で可能な範囲での教育ができる
- ・附属病院がもつ小児医療機能や食育サービス機能との連携、教育実践活動との連携、学生ボランティア活動との連携が可能

#### 施設概要

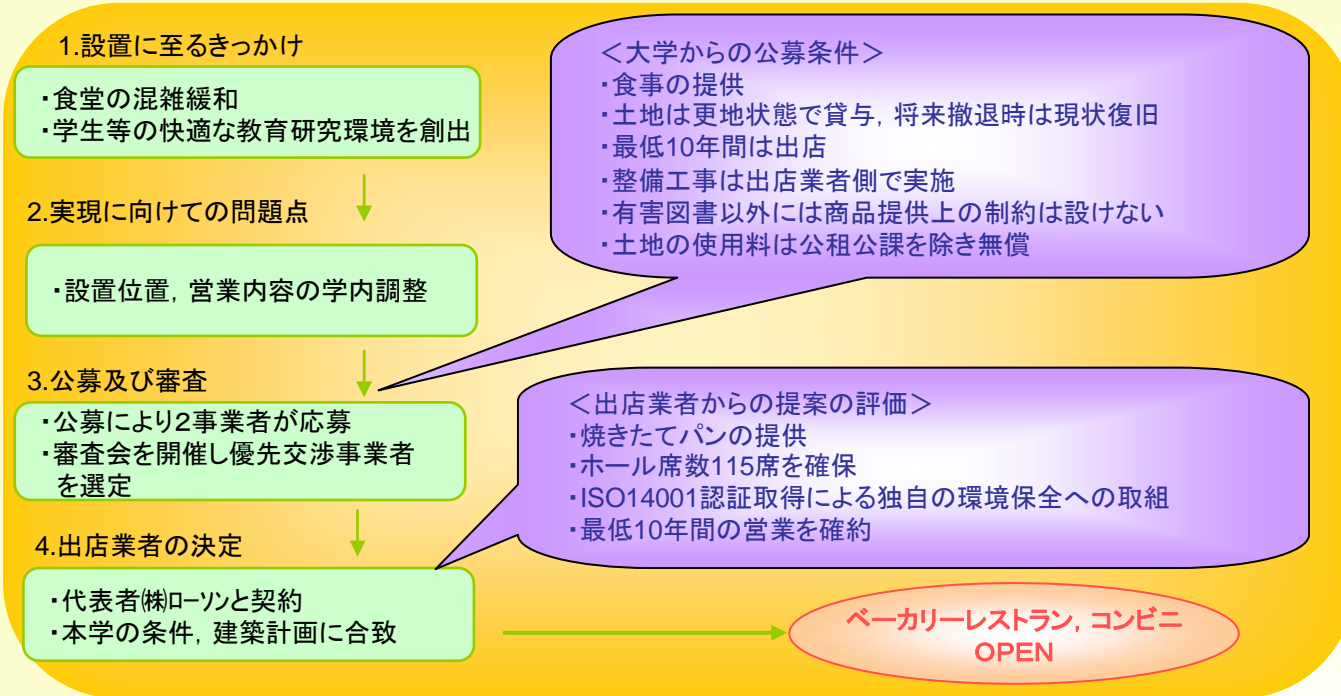


施設名	はなみずき保育園
構造・階数	W造 地上1階
建築面積	274㎡
延床面積	241㎡
使用開始	平成21年4月予定
主要室	保育室、遊戯室、病児室 厨房、事務室、玄関 沐浴・便所

敷地貸与型の複合サービス施設の整備(レストラン+コンビニエンスストア)

- ・企業(株ローソン及びシダックスフードサービス株)による食堂を中心とした福利厚生施設を誘致(最低10年間は出店)
- ・キャンパス内の食堂の混雑緩和と学生等の快適な教育研究環境の創出を目指した整備

事業内容



施設概要



施設名 S ガーデン  
(ローソン横浜国立大学店)  
(カフェテラス  
ボンパスト横浜国立大学店)

構造・階数 S造 地上1階

延床面積 367㎡

開店 平成20年6月(予定)

部屋構成 物販  
レストラン  
オープンテラス

期待される成果

- ・食堂の混雑が緩和され福利厚生施設が改善される。
- ・民間事業者の参入により, 既存食堂等への競争原理が働いて, 全体のサービス向上が図られる。
- ・様々なサービスが展開され, 屋外テラス, スロープ等が整備されるため, 構内での利便性が向上する。
- ・企業側は営業範囲が拡大し, 新たな顧客を獲得できる。

導入のポイント

- ・建設予定地は工学部エリア付近であり, 夜間や休日, 長期休暇期間も需要が見込まれるため, 採算が取れると企業側が判断したこと。